



とつか 2023年7月会報 第345号

国際会長(IP) Ulrik Lauridsen (Denmark)

2023 主 題 “Let Your Light Shine” 「輝かそう、あなたの光を」

スローガン“Good Communication is the Cornerstone in Every Cooperation”

「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」

アジア太平洋地域会長(AP) 利根川 恵子 (川越)

~ 主 題 “Be the light for change” 「変革のための光となろう」

スローガン“Shine and empower through fellowship” 「親睦を通して、輝き、力を得よう」

東日本区理事(RD) 山田公平 (宇都宮)

2024 主 題 “Instil Confidence in our Youth!”

「未来のために今、学びと気づきを！未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」

スローガン“Youth Empowerment through SDGs Youth Action”

「ユースアクションをワイズの主要な活動の一つに」

湘南・沖縄部部長(DG) 黒川 勝 (金沢八景)

主 題 主 題 “初心に帰り、新たな船出に踏み出そう” 副 題 「ワイズメンズクラブはYMCAとともに」

クラブ会長 吉原 訓 主 題「原点回帰」:副会長若木一美・書記 加藤利榮・会計 岡 進・メネット 吉原和子

会長ひとこと

☆ 原点回帰に向けて ☆ 吉原 訓

私たちは、YMCAのために何ができるか、改めて考えてみようと呼びかけた一年でした。

湘南とつかYMCAはコロナ禍のあとY祭を復活させました。飲食コーナーは、以前よりも衛生面での配慮が強く求められたり、チャリティバザーも人混みを警戒しながらの開催でした。近くで開催の区行政主導の「戸塚区民まつり」との相乗効果を期待しながらのイベントですので、その動きを見ながら、また、見られながらの次期のイベントに期待が大きいものと思います。ワイズはチャリティーバザーの充実に向かって努力を続けていきたいと思います。

拙宅での「タケノコ例会」では、竹林に入っただけの実際の筍掘りを行い、湘南とつかYMCAのユースリーダーや若い職員を中心に、クラブ・メンバーとの昼食会の開催は、誠に良い触れ合いの場となりました。今期も前期に引き続き、継続して実施していきたいと考えております。

拙宅での「タケノコ例会」では、竹林に入っただけの実際の筍掘りを行い、湘南とつかYMCAのユースリーダーや若い職員を中心に、クラブ・メンバーとの昼食会の開催は、誠に良い触れ合いの場となりました。今期も前期に引き続き、継続して実施していきたいと考えております。

YMCAとワイズメンズクラブが、「ワイズの信条」にもりますように、YMCAに尽くすワイズとして、今後とも、いっそう仲良く・協力し合って、名実ともに協働の実を挙げられるよう力を尽くしていきたいと考えております。

今期もお力添えの程、宜しくお願ひ申し上げます。

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

★強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う★

◎ 今月の聖句 ◎

雲の中に虹が現れると、私はそれを見て、神と地上のすべての生き物、すべての肉なるものとの間に立てた永遠の契約に心を留める。

—創世記9章16節—

私たちは虹を見ると心が弾みますが、昔の人はそうした虹の中に、神様の祝福を感じたのでしょう。「虹を見上げた時の感激」を忘れない限り、私たちは「いつかまた晴れる日がやってくるんだ！」と信じていることができます。ワイズ年度も改まり、更なる奉仕に身を投じたい。

強調月間

キックオフ ・ PR

今月はワイズ年度の始まり、とつかクラブの会員全員が、前期に引き続き同じ役職のまま今年度も奉仕活動に専念することが決まりました。各自知恵を出しPRを…。

～ 6月の会合実績 ～ 会員数：11名
例会出席：メ ン 10名・出席率：92%
ゲスト： 0名
ビジター： 0名
メネット： 3名

〈第3回部評議会〉

日 時：2023年6月24日（土）15時～17時

会 場：湘南とつかYMCA・1階ホール

出席者：吉原会長・若木直前部長・岡（会計）・加藤（書記）

小松部長による最終の評議会が上記の様に開催されました。会場を勘違いして、関内のYMCAに行った役員もおり、定刻の15時には定足数ギリギリの出席者、そこで審議事項は後回しにして、報告事項を優先して実施する措置を執った。報告は部の担当主査やクラブ会長から今期の取組みが報告され、またYMCAからは7月からの事業予定が説明・報告されました。

前半のプログラムが終わり、顔触れも揃ったところで議事に移り、第1号議案の会員増強支援規則(案)については、部の財政が潤沢でない中、新クラブ設立支援金の在り方につき意見が交わされ、また、専門委員会で結論済みの件を今更、反対意見を表明するのは不条理…など議論がなされ、採決の結果、可決された。第2、第3号議案は黒川次期部長からの事業方針等で、いずれも可決、終わりに峯尾監事から、部評議会の人数や内容等について意見が述べられ、予定された17時、閉会となりました。

なお、筆者は「地域・Yサ事業主査」のお役を頂いております。↗

〈6月期例会〉

日 時：2023年6月24日（土）17：30～20：30

会 場：レストラン 柏尾

出席者：吉原会長夫妻・浦出・岡進・加藤夫妻・

柴原・鈴木・瀬戸・土方・若木夫妻（計12名）

年度の‘締めくくり例会’は、1年を振り返りながら、来たるべき活動に向け、和気あいあいの内に終始した。



～文中、敬称略～

☆ 第98回YMCA—Y’s 協議会から ☆

日 時：2023年6月6日（火）19：00—20：30

会 合：ZOOMによるオンライン会議方式

出席者：吉原会長・若木直前会長・加藤書記

とつかクラブの上記3人は、湘南とつかYMCAにおいて、瀬戸主事のオンライン操作、横浜クラブ・古賀会長の進行により開催された表題の会合に参加しました。

初めに、佐竹総主事と小松部長による挨拶の後、協議に移りました。① 総主事挨拶の中で、新体制については、横浜クラブ担当が立花明美さんに交代があったほかは変更ない旨が述べられ、続いて、ワイズ側として黒川勝次期部長から、新役員の発表と事業計画について、素案ともいふべき内容のものが発表になりました。（具体的・詳細については、部評議会終了後に報告します。）

次に、② 先日6月3日～4日と開催された東日本区大会（甲府大会）の概要が報告されました。そのあと、③ 「絵本プロジェクト」について、阿部担当主事から、「…今年も希望するYMCAに絵本が届き、感謝する…」旨のお礼が述べられました。続いて、④ 湘南とつかYMCAの瀬戸主事から、本年度第26回横浜YMCAチャリティランについては、本大会が10月14日（土）、オンラインによる参加は同月16日（月）～30日（月）まで縮小した形での開催を予定したい旨の報告がありました。⑤ 今年度AIDS文化フォーラムは8月4日（金）から6日（日）・県民センターにおいて、30回目となる公開討論会を開催の予定であること。⑥ 佐竹総主事から定期総会が無事終了した旨の報告等がありました。

今回は、9月5日（火）・鎌倉クラブの担当で開催を確認しました。

間もなく100回目を迎えるこの協議会も、当初（1990年代）、吉村総主事が総主事室に入る人数をめでに始めた…と聞いております。↗

そして、吉村さんから97年には山根さんに、更に08年には山根さんから田口さん、20年には現在の佐竹総主事へと引き継がれ、軌道に乗っていた08年には、協議会実施要綱（下記）まで示されるに至りました。

横浜 YMCA-ワイズメンズクラブ (Y-Y's) 協議会実施要綱

- 1 目的 (2008. 6. 3施行)
この要綱は、横浜 YMCA と湘南・沖縄部に所属する沖縄2クラブを除く各クラブ（以下「各クラブ」という。）が、それぞれの働きをより適正・活潑に推進するため、定期的にY-Y's 協議会（以下「協議会」という。）を開催して懸案事項の解決及び情報の交換等を行い、もって双方が更なる活動を展開し、協働することを目的とする。
- 2 構成員
協議会は、YMCA は総主事及び各クラブ担当主事。各クラブは部役員及びクラブ役員（会長・副会長・書記・会計）をもって構成する。ただし、他のYMCA職員及びワイズメン、メネットは随時、列席することができる。
- 3 議長
協議会の議長は、各クラブが輪番でこれに当たり、当該クラブの会長が議長を務める。
- 4 協議会
協議会は議長が招集し、原則として3か月ごとに開催する。
- 5 議事録
議事録は議長を務めるクラブ担当主事が次に引き継ぐ。
- 6 経過措置
この要綱は、施行前に生じた事項にも適用する。



特別寄稿

☆ 新しい横浜とつかクラブから
新しい東日本区を!! ☆

2023-24 東日本区書記 大和田 浩二 (松本クラブ直前会長)



かなりの方々には初めましてのご挨拶をさせていただきます。加藤利榮様からの要請を頂き、このブリテンに書かせていただけること、光栄です。

まず自己紹介ですが、東京YMCAを皮切りに山梨YMCA、東山荘(同盟研究所も)とYMCAスタッフとしての道をずっと歩んできました。その中で、東京西クラブ・甲府クラブ・甲府21クラブ・御殿場クラブなどのワイズの方々に本当に助けられ、あるいは協力し合って、YMCAとワイズは本当に切っても切れない関係だということを身に沁みて感じている者の一人です。

昨年夏に、突然、山田公平さんの電話を受け、YMCAとワイズの関係を再び強化するためにも書記を…との言葉に、以前からのご縁とも相まってウンと頷いたのが、まさしく運の尽きでした。

全く聞いていない2年連続理事、役員会等々に出て思い知ったワイズの細かい規約にいかに関わらず自分が無知であるか、など戦々恐々の日々であります。しかし、もう船は動き出していて飛び降りる訳にはいきません。こうなったら腹をくくるしかないので、皆さま、どうかご指導・ご協力をお願いいたします。書記としては、個人的にワイズの難しい部分の平滑化(色々うるさいことを言わず楽しくやろうよ)に努めたいと考えております。

詳細は区報第1号をご覧頂きたいのですが、山田理事は「ユースと共に」「クラブライフの充実」を強調しています。皆さんの横浜とつかクラブは、すでにこれらに力を入れておられるクラブと拝察しております。そこに、もうひと味加えて、新たな横浜とつかクラブと東日本区の改革を、皆さま、是非よろしくお願ひいたします。

— 以上 —

(大和田浩二さま、お忙しい中、貴重な原稿を有り難うございました。今後ともよろしくお導きのほどを…。)

所で、同じ信州の長野クラブには、貴兄の後輩格? に当たる湯田勝彦さんがおられます。すでにお聞き及びかもしれませんが、彼の奥様のお母さま土方喜美代さんが私どもとつかクラブの会員として、お元気にご活躍なさっております。もし、彼にご連絡される機会などありましたら、よろしくお伝えのほどを…。(T/k)

《アンジュ通信》

☆ 新商品の開発・販売 ☆



ワークサポートセンターアンジュでは、夏に向けた新商品の販売を開始しました。

さわやかなレモンクリームでのニッシュ「シュガーレモン (230円)」、白桃の果実入りクリーム菓子パン「ももちゃん (180円)」

です。どちらも毎年ご好評をいただいている商品です。コロナの5類移行を契機に、イベントの再開が

緑陰随想

☆最近思う事☆ 元横浜クラブ会員 重村 利幸



つい先だって、携帯電話に懐かしい加藤さんからの声の流れてきた。コロナも下火になったので近いうちに「カトウさんを囲む会」を持ちましょう…。というプランが有志の間で持ち上がっていた折でもあり、そのことだろうと、軽い気持ちで挨拶を済ませたところ、「2.3日中にブリテン原稿をお願い、字数は2千字程度を。」と言われてびっくり、20年ほど前に横浜クラブを退会した私が今更どの面下げてとつかのブリテンに…と丁重にお断りするつもりになっていたところ、いつもの声と違う加藤さんの気迫に押され、とうとう引き受ける羽目になりました。

さて、私のように日々無為に過ごしていても、時間は実に正確かつ冷酷に時を刻み、私もこの7月1日には満85歳になります。歳のせいでしょうか、最近をよく自分の来し方に想いを致すことが多くなりました。昭和33年(1958年)の4月、私は一抹の不安を抱いて横須賀にありませ防衛大学校の門をくぐりました。当時は社会党全盛の時代で、自衛隊は憲法違反の存在というのが大方の民意でした。ですから高校の先生方や友人たちからは、防大入校に対する祝意はありませんでした。入校後、日曜日や祝祭日には外出を許可されました。しかし、電車に乗れば足を踏みけられたり、路上では突き当たられたり、「税金ドロボー」と面罵され唾を吐き掛けられたこともありました。そのような社会環境の中でも、防大では「今は辛抱の時」「体を鍛え頭脳を磨け」、そして精神面では「紳士たれ」と叩き込まれ、4年間を過ごしました。卒業後は、私は自衛官の道に進まず、シビリアンの教官として、学校に残りました。しかし、教官のサイドに立って学生教育を見直す時、教官側にも随分といひ加減な人たちがいることに気がきました。当時の社会情勢や世論の風潮から、防衛庁職員の大半が「やる気」を喪失しかけていたことは事実であり、気力の喪失は仕方のない事だったのかもしれませんが。このような風潮は、長い雌伏の時代を経て防衛庁が防衛省に昇格した2007年1月ころから少しずつ変わっていったように思われます。国会でも国防に関する問題が現実の問題として、真剣に論議されるようになっていました。(以下次号)

(重村様、貴重な原稿を有り難うございました。後半部分は次号に掲載させていただきます。T/k)

横浜 YMCA ワークサポートセンターアンジュ 相馬 良文

進んできています。お客様にお会いできる機会をみんな楽しんでしております。





担当主事 瀬戸俊孝

皆さんも何度かお耳にされたことがお有りかと思いますが、国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」は、全部で17の項目から成り立っております。今回、採り上げるのは、その7番目に当る「再生可能エネルギー」についてです。なぜ今回採り上げたかと申しますと、先日開催された甲府での東日本区大会で、私たちのクラブが頂いた表彰項目の中に、「YMCA サービス特別賞」というのを単独で頂くことができました(右欄に掲載)。

その表彰理由に、「…SDGsの学習の一環として再生可能なエネルギーを提供する電力会社をYMCAのリーダーらとともに見学し…」との記載があります。これは、とつかクラブのワイズの皆さんと、小田原の成田にあります省エネ発電所の見学に訪れた時のことを指して述べているものと思われます。

目標の「7」番目の解説部分を見ますと、「価格が安くて、安定して発電ができ、持続可能で近代的なエネルギーをすべての人が使えるようにする。」との説明がされています。

私たちは、この機会を逃さず、今後とも努力したいものです。



【今月の歳時記】

“西瓜の花・向日葵”

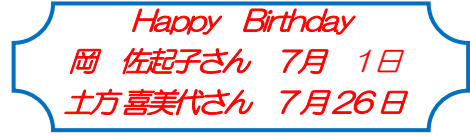
すいかのはな：梅雨のしとしとと雨の降るころ、西瓜畑には、淡黄色のささやかな花が開く。果実の大きさに比べて、なぜか、花は小さく可憐で、雨に濡れてかわいそう。花は、各葉腋につき、雄花と雌花の別がある。茎は地にはいながら枝を伸ばして繁茂する。

川音と土堤を隔てて花西瓜	花 風
道にまで西瓜の花のさかりかな	除夜子
やはらかさ雨に息づく花西瓜	芳 枝

ひまわり：盛夏、大輪の頭状花を横向きに開く。周辺は太陽の炎のような鮮明な黄色の舌状花を付ける。北アフリカの原産で菊科に属する。大きなものは二メートルにも達し、花径三〇センチにも及び大形の花を咲かせ、いかにも盛夏のたくましい花といった感じである。一茎一花の巨大輪をロシアひまわりという。種からは油をとる。

向日葵がすきで狂ひて死にし画家	虚 子
海の音ひまわり黒き瞳をひらく	夕 爾
向日葵や起きて妻すぐ母の声	澄 雄

- ◎ 第1例会：6月24日(土)13時・湘南とつかYMCA 近くなりましたら、皆様に担当主事から連絡をさせていただきます。
- ◎ その他の会合：事前に連絡します。



トピックス

加藤 利榮

(その一) オキナワへの想い

2年前の6月、現地那覇クラブの玉城会長からクラブの解散届が提出され、以来、以下の皆さんから投稿を頂き、連載してきましたが、このほど一段落しましたので、そのお名前などを回想しながら転載します。
 22年4月・知念一郎さん「ワイズの復活を願って」
 22年5月・大森節子さん「東日本区大会から20年」
 22年6月・上間かな恵さん「沖縄YMCA時代を…」
 22年9月・秋重 詢さん「ちむどんどん」
 22年10月・屋良政旦さん「日の出を待って」
 22年11月・玉城哲人さん「沖縄YMCAを支えて」
 23年3月・長嶺正将邦さん「子供たちの成長を…」

(その二) 「22-23年度東日本区表彰一覧」から

- ◎ YMCA サービス：とつかクラブ・特別賞
 地元YMCAリーダー会と連携、SDGsのため再生可能な電力会社の見学や、タケノコ堀例会にリーダー招待など、共にYMCAの使命実現への取組が顕著である。
- ◎ CS 献金貢献賞(一人当たり)：とつかクラブ・第1位
- ◎ 会員増強事業：ノンドロップ賞

(その三) ネンドのこと

- ◎ ワイズの立法年度は、7月1日に始まり、6月30日に終了するものとする。(国際憲法ガイドライン405)
- ◎ 2013年から会計年度は、7月1日から6月30日とする。(同ガイドライン第9条)
- ◎ 立法上の年度は、7月1日に始まり、6月30日に終わるものとする。(アジア太平洋地域憲法ガイドライン 5. 立法機関)
- ◎ 区の会計年度は、毎年7月1日に始まり、翌年6月30日に終わる。(東日本区定款第5条・第3項)
 以上の様に、今月7月はワイズの年度替わりの月、少し気になったので、「年度」について調べてみましたら、同じような国際的奉仕グループのロータリーやライオンズの団体の会計年度も7月~であることが分かりました。
- ◎ そして、単に「会計」に限らず、ワイズ全般の奉仕活動の始まりも7月から…という例が圧倒的に多いですね。したがって区大会も6月に総括の意味で…。

(後記) 出か越中トヤマなので、よくクロバ・スイカを頂きました。(㊦)